

関西エリアにおける自治体無料 Wi-Fi の認証連携実現について

1. 経過

- (1) 関西広域連合では、共通認証アプリを使うことにより、関西エリアの自治体間等で無料 Wi-Fi の認証連携を実現できる目途が立ったことから、認証連携に向けた具体的な取組を進める。
- (2) 平成 28 年 6 月 26 日 (日) に開催された連合委員会において合意を得た。

2. 認証連携により実現する内容

- (1) 外国人観光客が、関西エリア内において初回の接続手続きを行うと、以降は認証の手続きが不要となり、自動で接続可能となる。

(認証イメージ)

関西国際空港で初期登録
(認証手続き終了)



以降、関西エリア内はワンタッチで接続可能
(個別の認証手続きは不要)

3. 共通認証アプリについて

- (1) 初期の運用コストを考慮し、国内で普及が進んでいる訪日外国人向けの無料 Wi-Fi アプリ「Japan Connected Free Wi-Fi」をベースに制作予定
- (2) 総務省が同様に取組を進める認証連携と同じ方式を採用し、国の施策と十分調整しながら実施する
- (3) 認証時のセキュリティチェックは、総務省からも通知されている SNS アカウントまたはメールアドレスの入力による認証方式を採用予定
- (4) アプリには、広域観光周遊ルート「美の伝説」等の観光情報のコンテンツ等も盛り込む

4. 必要な経費について

- (1) 今年度は、共通認証アプリの制作等 500 万円、データ提供を含む運用経費 500 万円 (ともに見込額) が必要 (関西広域連合 400 万円、関経連 200 万円、国 400 万円を予定)
- (2) 関西広域連合の必要経費は、8 月補正予算で対応予定
- (3) 県負担金は、基本的に関西広域連合全体の負担金の中で対応予定 (概算額 276 千円)
- (4) 次年度以降の全体運用経費 (データ提供含む) は、年間約 1,000 万円程度必要となる見込み

5. スケジュール等について (予定)

- (1) 関西広域連合の 8 月補正予算可決後、速やかに共通認証アプリを構築し、運用開始する。